

令和3年度 相馬市外部評価委員会 市事務事業の外部評価結果

【評価点】 8名の委員が事務事業ごとに事業の妥当性（必要性）や効率性（有効性）などについて5点満点で評価したものの平均点数。	【A評価 20事業】 事業は必要かつ有効であり推進することが妥当 (評価点 4.0以上)
	【B評価 1事業】 事業の改善を図りながら継続することが妥当 (評価点 3.0~3.9)
	【C評価 0事業】 事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要 (評価点 2.0~2.9)
	【D評価 0事業】 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要 (評価点 1.9以下)

No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
1	行政のデジタル化の推進	4.1	A	作業の効率化には、行政のデジタル化は必要不可欠なことです。一方で、情報の漏えいに対するシステムの強化、トラブル時のバックアップ、リカバリー対策・体制も運用当初から整えておくようにしておくとともに、窓口等の行政手続きをデジタル化する場合は、市民が安心して手軽に利用できるような安全性や利便性について、説明や周知を十分に行ってください。
2	自主防災組織の訓練等の支援	4.3	A	災害発生時に混乱しないよう、平常時に訓練を数多く行うことが重要です。また、活動が活発な自主防災組織の活動を他地区が組織の運営の仕方等を共有することで、市内の自主防災組織全体が活発になることも考えられます。助成金以外の「防災訓練等への支援」について、市が積極的に関与しながら、防災体制の強化に努めてください。
3	子育て支援活動	4.3	A	妊娠期から学童期に至るまでの子育て支援が手厚くなると相馬への移住・定住が増加すると思われるので、より丁寧なきめ細やかな支援活動に取り組むとともに、子育て世代が孤立化してしまわないよう、支援策が目に見えるように積極的な情報発信に努めてください。
4	各校の道徳教育の充実への支援・相馬フォロアーチームと連携した心のケア・メンタルヘルスサポート事業	4.3	A	SNS等による目に見えないいじめやそれに伴う不登校・自殺を防ぐために道徳教育は不可欠であり、そのための専門職員の派遣等の支援の充実を願います。また、メンタルヘルスサポートは年間の利用可能枠が限度に達しているため、利用実績を検証し、枠を増やす検討等も行ってください。
5	学校給食を通じた食育の推進・給食調理員研修会の開催・市内全小中学校の給食の無料化	4.5	A	児童・生徒への豊かな食の提供は将来の相馬の力になると思いますので、食育のもつ大きな意義を考え、推進してください。また、更なる積極的な相馬産品の利用を期待します。
6	校庭の遊具の点検と計画的な更新・維持管理	4.6	A	定期的な点検は継続しつつ、壊れてからの改修ではなく、経過年数等による計画的な更新を検討し、新しい遊具の配置については学校の要望も勘案し、楽しめる遊具の導入なども視野に入れながら進めるよう願います。
7	円滑な農業委員活動のサポート	4.0	A	農業後継者不足の中、農地をどう守っていくか、課題は大きいことを踏まえ、農業委員に対する情報提供や研修等のサポートに留まらず、関係部署、機関と協力しながら、農業振興や農地利用最適化に向け、農業従事者や新規就農希望者に的確な情報発信と就農希望者の勧誘に努めてください。
8	企業誘致の推進（企業への情報発信と支援）	4.1	A	地域経済の活性化、雇用創出に繋がるため、必要な事業です。市の魅力リサーチ等を実施し、「誘致企業にとっての魅力が何か」をはっきりつかみ、相馬としてアドバンテージのあるものをきちんと定めて誘致活動を推進してください。
9	相馬港の利用促進	3.9	B	「企業が相馬港を利用したいと思うには何をしたら良いか」を調査するとともに、企業誘致と併せた利用促進に努めてください。また、5年後、10年後には相馬港に対する企業ニーズも様変わりすることも考えられるため、新たな産業への港湾利用も視野に入れて推進することを願います。
10	観光産業の振興	4.2	A	観光産業の発展は、市の将来にとって非常に重要となります。すべての観光資源を活用し、ターゲットとする観光客のニーズに応じた観光メニューを準備するとともに、あらゆる情報を提供してリピーターを増やすことに努めてください。
11	公民館活動の推進（特別企画講座の開催）	4.6	A	年毎に強弱をつけながらも、地域住民が年齢を問わず参加できるようなイベントや講座の企画を継続的に提案しながら公民館活動を通して住民が交流できる場の提供に努めてください。
12	図書館の環境整備と図書の実施	4.1	A	デジタル化が進む中、図書館においても少しでも早く対応することで、充実した魅力ある図書環境となるよう努め、市民の知の拠点となるよう取り組んでください。また、絵本の読み聞かせ会は、良い取組ですので、図書館だけでなく、愛育園や公民館等とも連携し、数多く開催できるよう期待します。
13	既存スポーツ施設の利活用促進	4.6	A	施設管理をしているNPO法人等との連携等を密にし、窓口での接遇向上を図るとともに、きめ細やかな情報発信に努め、利用団体の増加に努めてください。また、スポーツ施設を通じたレベルの高いプレーを見る機会等を子ども達を含めた多くの市民の方々に与えることは事業として有益と考えますので、各種大会等の誘致活動の強化を願います。
14	市民活動による交通事故対策	4.4	A	交通事故も災害であると考えますので、防災という観点から各行政区の特質に合致した対策を考え、関係機関との連携を密に行った事業推進を願います。また、地域ボランティア団体との協働による活動は有効だと考えますが、活動が散発的になることも懸念されるため、市が主導した継続的な活動の展開を期待します。
15	個人積算線量計による外部被ばく検査	4.5	A	得られたデータが記録として残ることは、安心安全の材料につながるから積極的に対外アピールをすべきと考えます。また、長期間に事業になることも考慮したうえで、今後どのように継続して、いつまでやるのかといった出口戦略も検討を行いながら事業の推進を願います。
16	学校敷地内の線量モニタリング調査と公表・学校給食の放射性物質測定と公表	4.6	A	学校における放射線被害をなくすための活動として良い事業だと考えます。また、原発事故から10年が過ぎたことも踏まえ、今後は、今までの蓄積したデータを分析し、その結果を示しながら、出口をどこに据えるかの検討を行いながら事業の推進を願います。
17	生活習慣病予防のための啓発活動 生活習慣病予防・対策の推進 保健協力員等による地域活動の推進	4.3	A	生活習慣病は、健康寿命に影響を及ぼすだけでなく、地域医療や経済にもマイナス効果を波及させると考えます。公民館活動や各種行事等を利用して情報発信をすることにより啓蒙活動を充実させ、また独居老人への対策も保健協力員に協力を仰ぎながら、事業を推進してください。
18	災害公営住宅団地独居高齢者等見守り	4.6	A	高齢者にとって孤独な環境とならないことが、精神疾患や肉体的疾患の予防にもつながると考えます。そのために定期的な見守りは不可欠で、高齢化社会において全ての地域で公営住宅に限らず一般住宅も対象とした独居高齢者の見守りが必要となってくることも視野に入れた事業継続を願います。
19	在宅障がい福祉施策の充実・精神障がい者地域定着の充実	4.3	A	あらゆる障がいを持つ方々が充実した日常生活を送るために、市民の意識の変容や生活支援センター、相談センターの整備と連携が必要と考えます。地域で支えることを基本として、障がい者と健康者の意識の変化を促すような双方の橋渡しとなる事業展開を期待します。
20	公園遊具の維持・管理	4.6	A	事故は想定していないような行動によって発生することが多々あります。それらを防ぐためにも、国のマニュアルだけではなく、多くの人の意見を聞いて対策することを検討していただきながら取り組むことを期待します。
21	新型コロナウイルス感染症対策（ワクチン集団接種）	4.9	A	相馬モデルと呼ばれる集団接種体制を作った自治体と医師会の協力体制は、称賛されるべきもので、全国に先駆け一早く行った高校生・中学生の接種体制も同調圧力を勘案したものとなっており、他自治体の参考になるものと考えます。また、ワクチン接種率も90%を超え高水準であることは、市民の新型コロナウイルス感染症対策に対する意識の向上にも大きく影響を与えたものと考えます。あわせて、3回目接種を実施する場合においても、1回目接種、2回目接種と同様、市民が安心して接種できる体制の構築と実施を望みます。